



JASDAQ

平成28年10月27日

各位

会社名 株式会社翻訳センター
代表者名 代表取締役社長 東 郁男
(コード: 2483 JASDAQスタンダード)
問合せ先 取締役総務部長 中本 宏
(TEL. 06-6282-5013)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,700	百万円 210	百万円 210	百万円 130	円 銭 77.17
今回修正予想(B)	4,970	341	355	226	134.56
増減額(B-A)	270	131	145	96	
増減率(%)	5.7	62.7	69.1	74.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,262	134	126	61	36.60

2. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,700	百万円 650	百万円 650	百万円 420	円 銭 249.33
今回修正予想(B)	9,950	720	720	465	276.04
増減額(B-A)	250	70	70	45	
増減率(%)	2.5	10.7	10.7	10.7	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	9,178	534	534	430	255.48

修正の理由

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、当社グループのコアビジネスである翻訳事業が堅調に推移していることに加え、複数の大型国際会議を含む会議案件の運営によりコンベンション事業が好調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、当連結会計年度末において退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更することにより販売費及び一般管理費は増加する見込みではありますが、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗から、通期連結における業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上